

おり  
たち

# 折立



折立では、2011 年（平成 23）の台風 12 号水害で、折立橋に強い泥流がぶち当たり、怒涛の渦の中に橋を呑み込んでしまいました。橋の東端近くに玉置神社へ登る車道がついています。

玉置神社は紀元前 37 年の崇神天皇の時代に、王城火防鎮護と悪魔退散のため、早玉神を奉納していたとの伝承をもち、パワースポットとして訪れる人が絶えません。大字折立は玉置神社に東南部で接しています。

盆踊りは 8 月 13 日に旧折立中学の校庭で、雨天の場合は体育館で行われます。盆踊りは「夏祭りの」な特色を打ち出しており、本格的な打ち上げ花火や、クオリティの高い屋台（子どもが買いやすい低価格設定）が人気で、200 人近い参加が見られます。2019 年には、昔、盆踊りの中入り（休憩）にふるまわれていた「きな粉おにぎり」を復活させて販売しました。

曲目は 20 曲くらいありましたが、現在では 12～13 曲になっています。ほとんどが扇踊りで、二つの舞扇を裏返して揃える、打ち合わせるといふ所作が多いのが特徴です。手踊りは「木曾節」と「鹿兒島小原節」です。近隣の平谷の盆踊りと共通している演目は、廃絶曲を含めると少なくとも 12 曲が確認されますが、踊りの所作は両字で異なります。「しやしやしやしやしんしん」は二人が向かい合って、飛びすさるようにして入れ替わる踊りで、音頭取りもテンポを早くしたり遅くしたりで緩急自在、とても疲れますが笑い声の絶えない楽しい踊りです。

盆踊りは一時期実施されていりませんでしたでしたが、2002 年（平成 14）頃に再開されました。当時 20 代の若い人たちが中心となり始めたもので、メンバーは引き続き参加して輪の中心になっています。しかし、踊りの上手な方が高齢化しており、中間の世代が少ないのが悩みの種です。

折立の知恵は、盆踊りを夏祭りとして位置づけた点で、万が一、今後、踊る曲目が減っても、他のイベントを組み合わせる賑わいや楽しみを確保しようとしているところだと思います。これも盆踊りの持続のための効果的な方法といえるでしょう。（中川）



折立

撮影：田花三蔵



折立

撮影：中川眞



折立

撮影：佐古金一